

エレクトーンのお客様向け iPhone/iPad接続マニュアル

iPhoneやiPad、iPod touchとエレクトーンを接続し、専用のアプリを使えば、エレクトーンをもっと便利に楽しむことができます。

NOTE 以降、本マニュアルではiPhoneとiPod touchをまとめてiPhoneと表記します。

対象モデルについて

対象モデルは下記のとおりです。最新のバージョンでご使用ください。最新のバージョンやバージョンアップ方法については、下記ウェブサイトからご確認ください。

対象モデル	バージョンアップ方法
ELS-02, ELS-02C, ELS-02X (含むバイタライズユニット)	https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/keyboards/electone/els-02/howto.html#product-tabs
ELC-02, ELCU-M02	https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/keyboards/electone/elc-02/howto.html#product-tabs
ELB-02	https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/keyboards/electone/elb-02/howto.html#product-tabs
ELS-01, ELS-01C, ELS-01X (含むtypeU), ELS-01CH	https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/keyboards/electone/els-01/howto.html#product-tabs
ELB-01	https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/keyboards/electone/elb-01/howto.html#product-tabs
DDK-7	https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/keyboards/electone/stagea_d-deck_package/howto.html#product-tabs

アプリについて

下記ウェブサイトから、お使いのエレクトーンに対応のアプリをご確認ください。アプリにより、iPhone/iPadの対応機種/動作環境は異なりますので、ウェブサイト上でよくご確認ください。

https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/keyboards/apps/

■ アプリの入手

上記ウェブサイトでご希望のアプリが見つかりましたら、App Storeでアプリの名称を検索し、ダウンロードしてください。

目次

対象モデルについて	1
アプリについて	1
注記（ご使用上の注意）	3
お知らせ	3
接続タイプを選ぶ	4
USB無線LANアダプターを使ってアクセスポイントに無線接続する(接続A)	8
USB無線LANアダプターを使って直接接続する接続する(接続B)	12
無線LAN接続に関するトラブルシューティング	13
USB有線LANアダプターを使ってアクセスポイントに有線接続する(接続C).....	14
ケーブルを使ってiPhone/iPadに接続する(接続D、E、F、G、H、I、J)	16
用語集	16
BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ	17

注記（ご使用上の注意）

iPhone/iPadの落下を防ぐために、以下のことにご注意ください。

- エレクトーンを移動したり傾けたりする場合は、譜面立てにiPhone/iPadを置かないでください。
- iPhone/iPadと他のもの(楽譜集や2台目のiPhone/iPadなど)を、一緒に譜面立てに置かないでください。重みやバランスの偏りで不安定になり、iPhone/iPadが落下するおそれがあります。
- iPhone/iPadを不安定な場所に置かないでください。
- 譜面立てに置いたiPhone/iPadを横滑りさせたり、強く押す/強く連打するなど強い衝撃を加えないでください。
- 使用後や、エレクトーンから離れる場合は、必ず譜面立てからiPhone/iPadをおろしてください。

通信ノイズを防ぐための注意事項

iPhone/iPadの通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPadの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。無線LANで接続する場合は、iPhone/iPadの機内モードをオンにしてから、Wi-Fiをオンにしてください。

お知らせ

- このマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このガイドに掲載されているイラストや画面(ELS-02/ELS-02C/ELS-02X (含むバイタラズユニット)の画面を使用しています)は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- iPhone、iPad、iPod touch、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他、このファイルに掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

接続タイプを選ぶ

下図の早見表を参考に、お使いのエレクトーンとiPhone/iPadの接続方法をご確認ください。

NOTE エレクトーンとiPhone/iPadの接続では、オーディオデータの通信はできません。

■ iPhone/iPad接続タイプ早見表

無線通信する場合*1

			iPhone/iPad/iPod touch
エレクトーン	USB TO DEVICE端子	USB無線LANアダプター	A または B
		USB有線LANアダプター*2	C

*1 ELB-01は無線通信に対応していません。

*2 ELB-02、ELC-02/ELCU-M02はUSB有線LANアダプターに対応していません。

USB無線LANアダプター / USB有線LANアダプターについて

下記ウェブサイトの「資料/データ」から、動作確認済みUSB機器をご確認のうえ、ご用意ください。

サポート・お問い合わせ：

<https://jp.yamaha.com/support/>

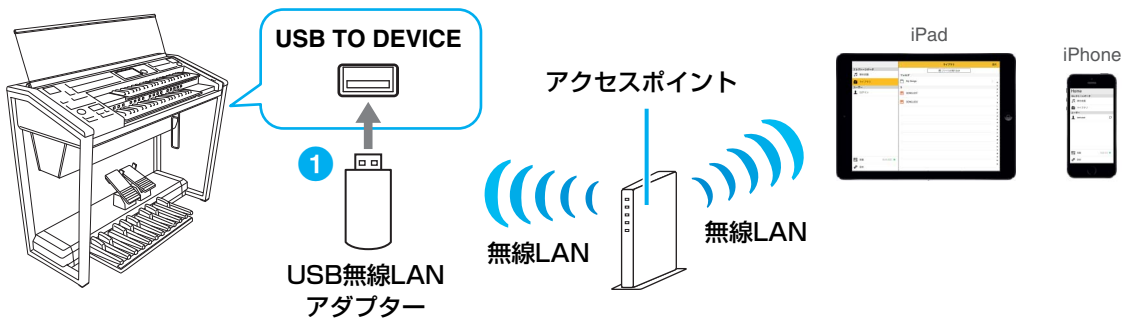
ケーブルを利用して通信する場合

		iPhone/iPad/iPod touch		iPad
		Lightningコネクタ 	30ピン コネクタ 	USB Type-C コネクタ 
エレクトーン	USB TO HOST端子	D または G	F または H	E
	MIDI端子	I	J	—

* Lightning - USBカメラアダプタ、USB-C Digital AV Multiportアダプタ、USB-C VGA Multiportアダプタ、Apple iPad Camera Connection Kit (カメラコネクタ)およびLightning - 30ピンアダプタはApple社製品のみ対応しています。Apple社製品以外の製品をご使用された場合は正常に動作しない可能性があります。

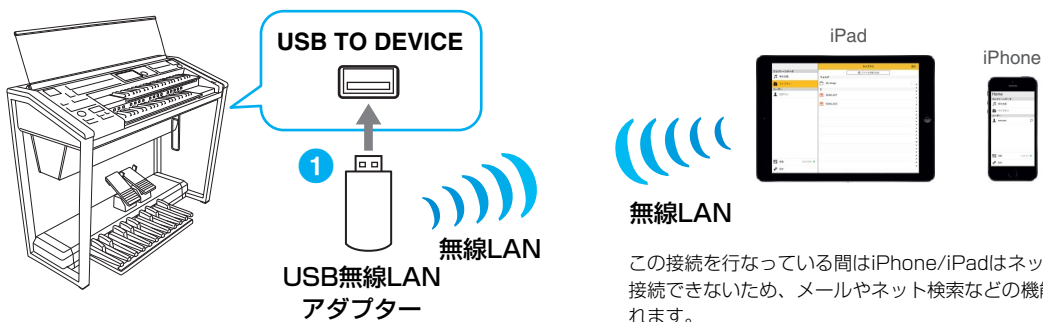
接続 A

接続方法は8ページをご覧ください。



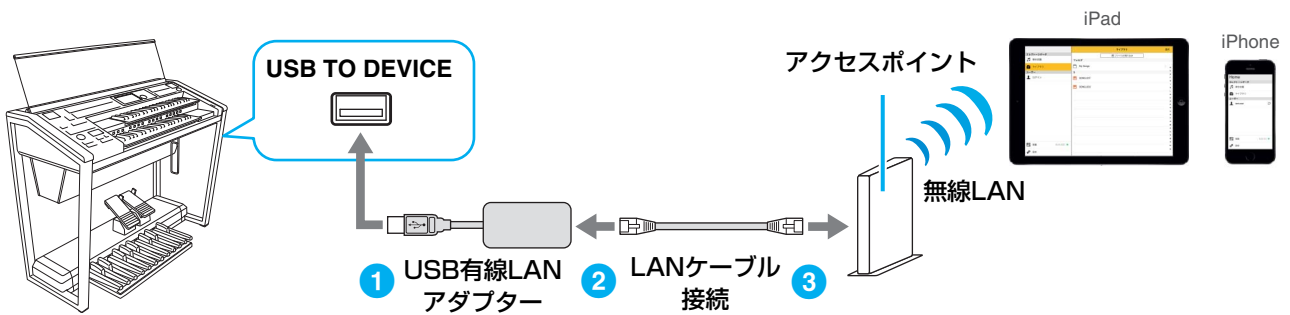
接続 B

接続方法は12ページをご覧ください。



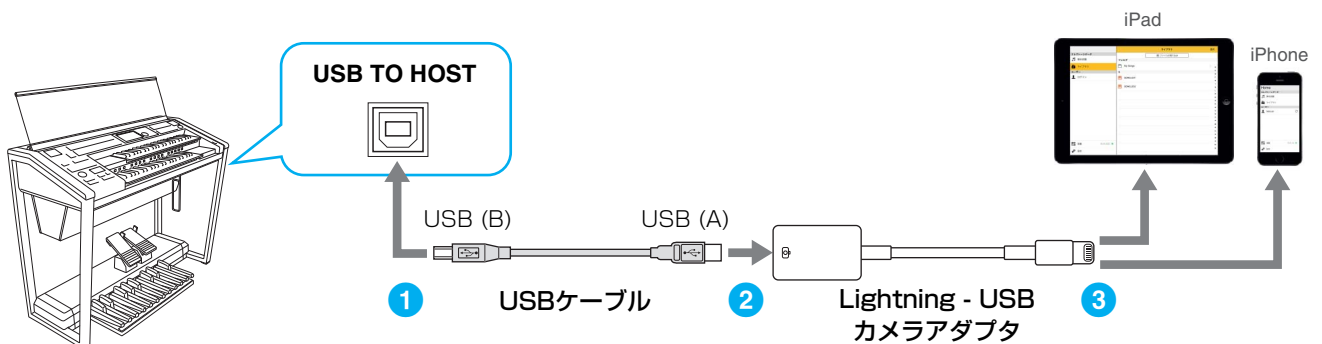
接続 C

接続方法は14ページをご覧ください。



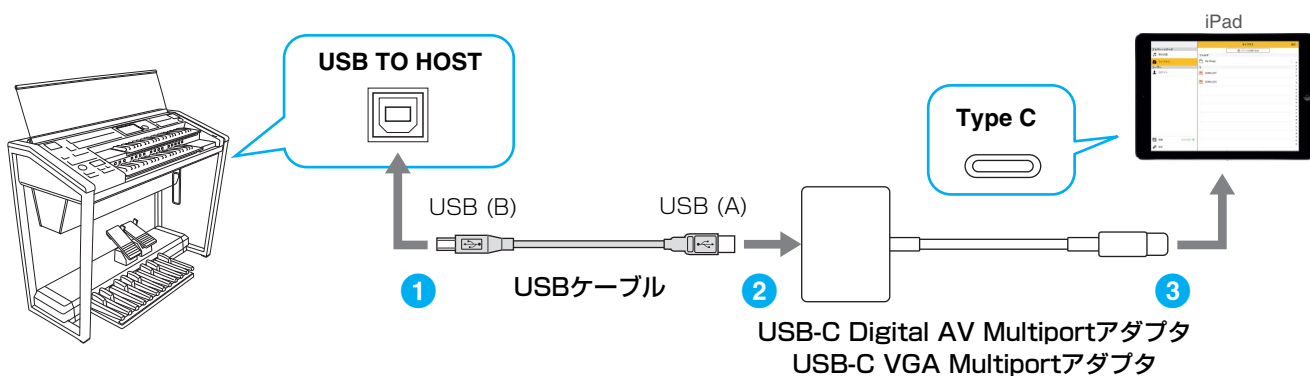
接続 D

接続方法は16ページをご覧ください。



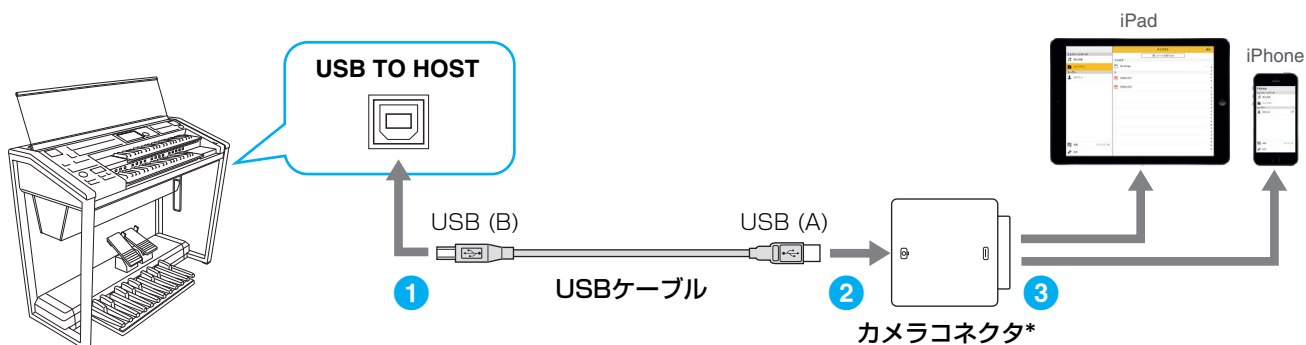
接続 E

接続方法は16ページをご覧ください。



接続 F

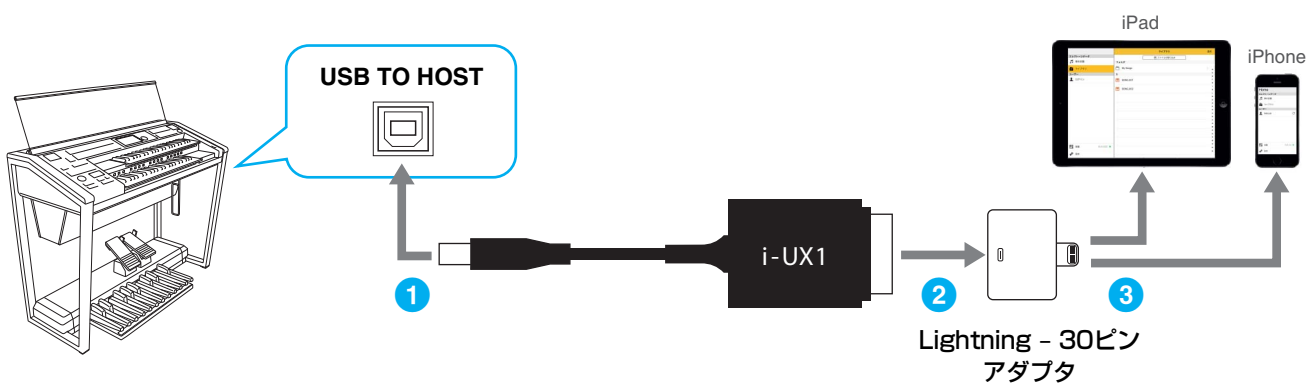
接続方法は16ページをご覧ください。



*カメラコネクタはApple iPad Camera Connection Kitに付属しています。

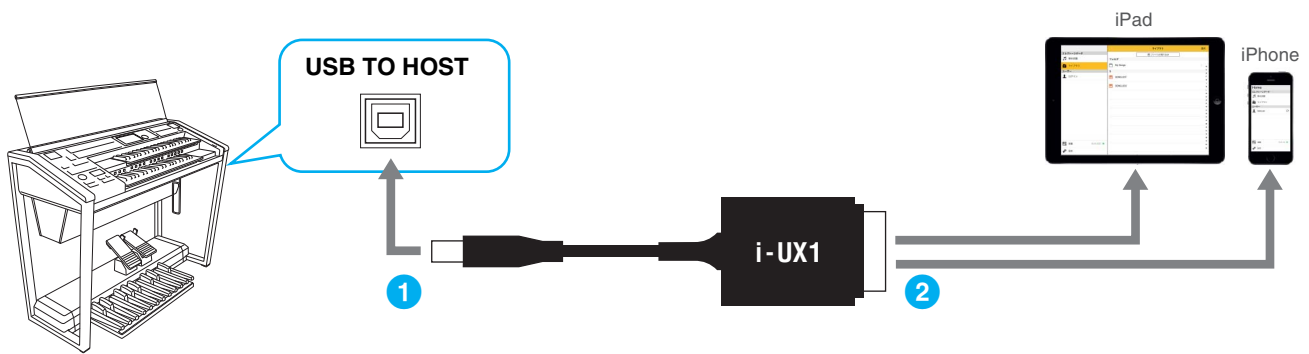
接続 G

接続方法は16ページをご覧ください。



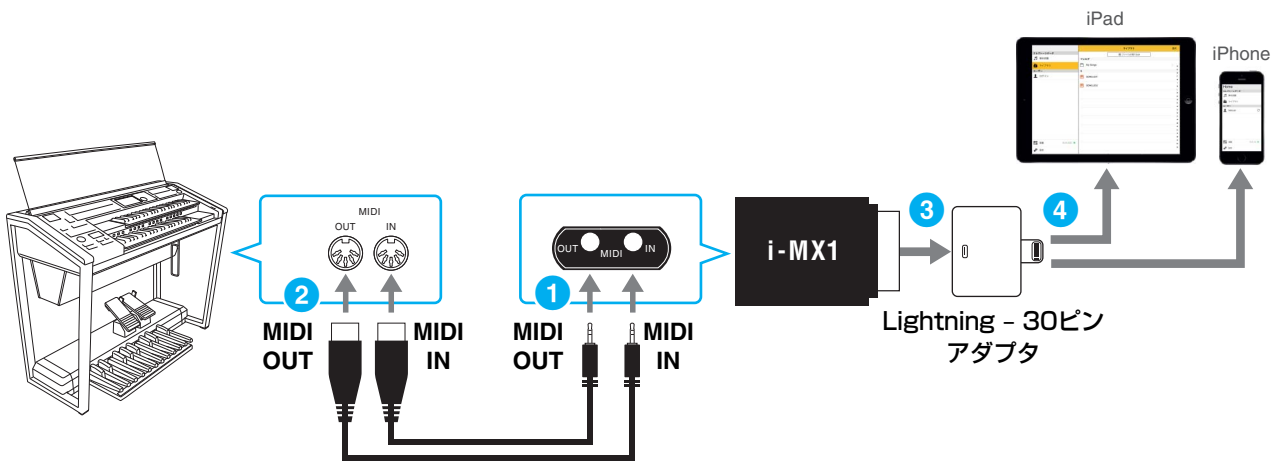
接続 H

接続方法は16ページをご覧ください。



接続 I

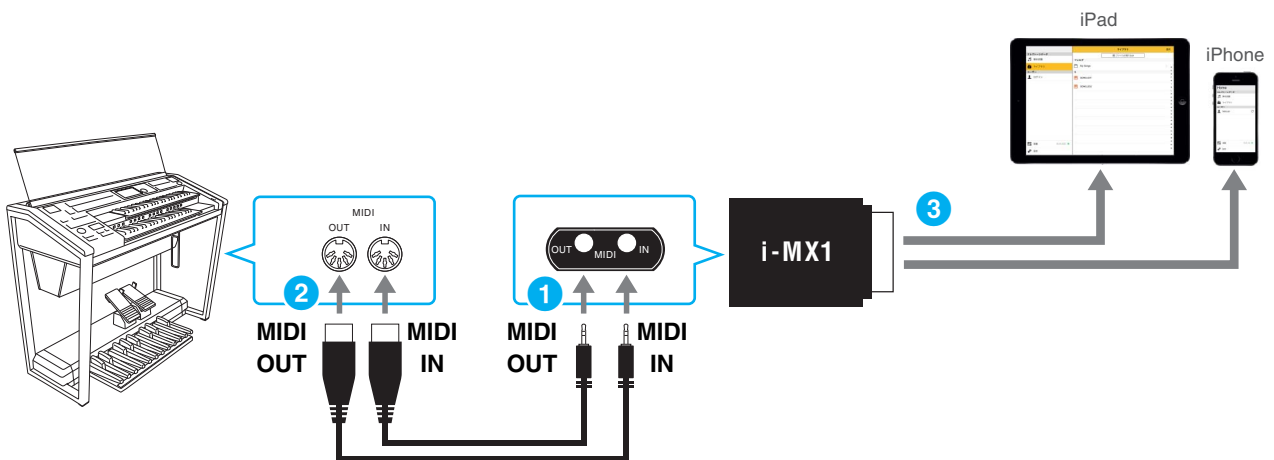
接続方法は16ページをご覧ください。



i-MX1の[MIDI OUT]端子に接続したケーブルをエレクトーンの[MIDI IN]端子に、i-MX1の[MIDI IN]端子に接続したケーブルをエレクトーン
の[MIDI OUT]端子に接続します。

接続 J

接続方法は16ページをご覧ください。



i-MX1の[MIDI OUT]端子に接続したケーブルをエレクトーンの[MIDI IN]端子に、i-MX1の[MIDI IN]端子に接続したケーブルをエレクトーン
の[MIDI OUT]端子に接続します。

USB無線LANアダプターを使ってアクセスポイントに無線接続する (接続A)

■ USB無線LANアダプターを使いアクセスポイントを介して接続する

ご用意いただくもの

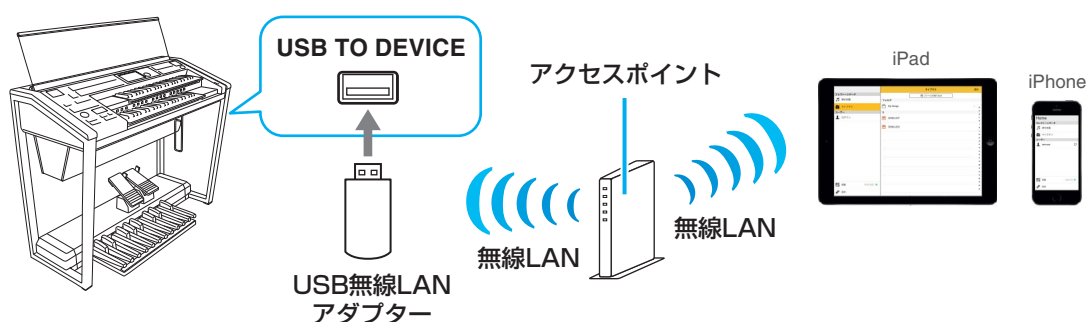
- USB無線LANアダプター *

*下記ウェブサイトの「資料/データ」から、動作確認済みUSB機器をご確認のうえ、ご用意ください。

サポート・お問い合わせ：

<https://jp.yamaha.com/support/>

- ルーター機能付きアクセスポイント(モデムにルーター機能が付いている場合は、アクセスポイントにルーター機能は不要です。)



- 1** エレクトーンの電源を切っておきます。
iPhone/iPad上のアプリは、すべて終了しておいてください。
- 2** USB無線LANアダプターをエレクトーンの[USB TO DEVICE]端子に挿入します。
- 3** エレクトーンの電源を入れます。
- 4** エレクトーンに無線LANのモード設定がある場合は、インフラストラクチャーモードに切り替えます。
- 5** エレクトーンをネットワークに接続します。
接続方法は3つあります。
 - ・「WPSによる接続」(9ページ)
 - ・「ネットワーク一覧から選んで接続する」(10ページ)
 - ・「手動接続」(11ページ)

ご自分のネットワーク環境に合わせ、いずれか1つを選んで接続してください。

WPSによる接続

アクセスポイントがWPS機能に対応している場合は、設定情報の画面入力などを行なうことなく簡単な操作でエレクトーンをネットワークに接続できます。

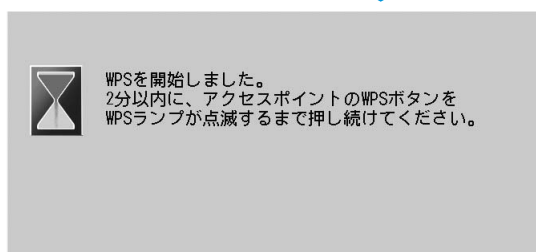
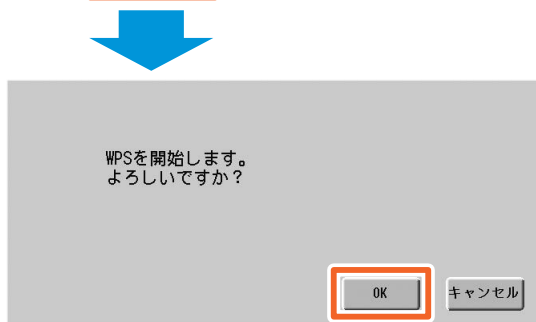
NOTE アクセスポイントがWPS機能に対応しているかは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 USB無線LANアダプターをエレクトーンの[USB TO DEVICE]端子に挿入します。

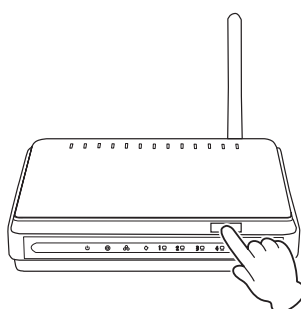
2 エレクトーンの無線LANの設定画面で、[WPS]ボタンを押します。

NOTE お使いのエレクトーンによりボタン名や表示は異なります。エレクトーン取扱説明書または追加機能説明書をご覧ください。

例 ELS-02/ELS-02C/ELS-02X (含むバイタライズユニット)の場合: [UTILITY]ボタン → [無線LAN]



3 手順2のあと、2分以内にお使いのアクセスポイントのWPSボタンを押します。



アクセスポイントのWPSボタンを押す

NOTE アクセスポイントの設定内容の確認や変更については、使用するアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

以上の手順で接続に必要な情報は自動的に設定されエレクトーンがネットワークに接続されます。11ページ手順6へ進んで、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。WPSによる接続ができなかった場合は、「ネットワーク一覧から選んで接続する」を行なってください。

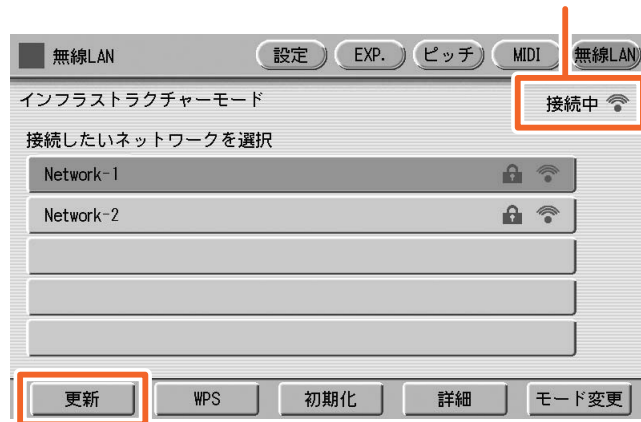
ネットワーク一覧から選んで接続する

エレクトーンのネットワーク一覧から接続できるネットワークを選びます。設定および操作方法は、お使いのエレクトーンによって異なりますので、エレクトーン取扱説明書または追加機能説明書をご覧ください。

1 エレクトーンの無線LANの設定画面で、[更新]ボタンを押します。

例 ELS-02/ELS-02C/ELS-02X (含むバイタライズユニット)の場合: [UTILITY]ボタン → [無線LAN]

エレクトーンとネットワークの接続に成功すると表示されます




NOTE エレクトーンに電波が届いていない場合やSSIDを非公開にしているネットワークは、一覧に表示されません。

NOTE エレクトーンとネットワークの接続に成功すると、画面右上に「接続中」が表示され、接続したネットワークがオレンジ色に変わります。

2 エレクトーンをネットワークと接続します。

エレクトーンの近くにあるネットワークの一覧が画面に表示されますので、お使いになるネットワークを選択します。

セキュリティが設定されているネットワークには鍵アイコン「」が表示されます。鍵アイコンのあるネットワークを選択した場合は、パスワードの入力が必要です。鍵アイコンが付いていないネットワークは、選ぶだけで接続できます。

接続に成功すると、画面に接続状態が表示されます。また、信号の強度に応じて以下のようなアイコンが表示されます。



以上でエレクトーンとネットワークの接続の設定は完了です。11ページ手順6へ進んで、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。ネットワーク一覧に、接続したいネットワークがない場合や他の方法で接続を行なう場合は、「手動接続」の操作を行なってください。

NOTE お使いの製品により、機能の名称が異なったり、サポートされていない場合もあります。

手動接続

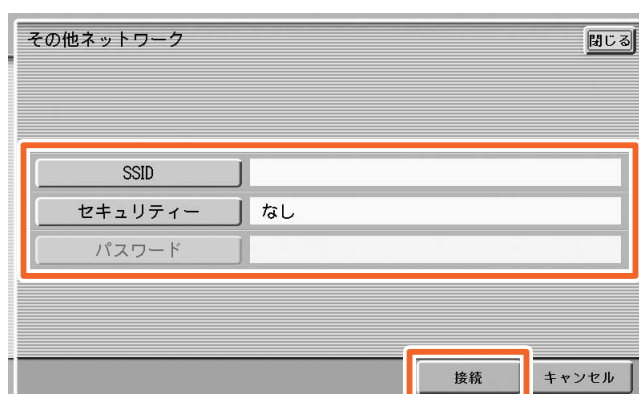
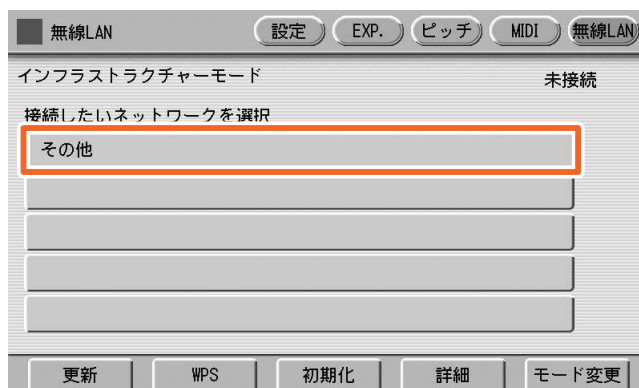
アクセスポイントがSSIDを非公開にしているためネットワーク一覧に表示されない場合やアクセスポイントにWPS機能が搭載されていない場合は、アクセスポイントで設定しているSSID、セキュリティ方式、パスワードをご確認の上、エレクトーンの設定画面に入力して接続します。

NOTE アクセスポイントの設定内容の確認や変更については、使用するアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

NOTE SSID、セキュリティ、パスワードを入力する方法についてはエレクトーンの取扱説明書または追加機能説明書をご覧ください。

1 エレクトーンの無線LANの設定画面で、SSID、セキュリティ、パスワードの順に入力します。

例 ELS-02/ELS-02C/ELS-02X(含むパイタライズユニット)の場合: [UTILITY]ボタン → [無線LAN] → [その他]



お使いのアクセスポイントと同じ設定にしてください。

2 [接続] ボタンを押します。

以上の手順でエレクトーンがネットワークに接続されます。手順6へ進んで、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。ネットワーク一覧で、接続したいネットワークがない場合や他の方法で接続を行なう場合は、「USB無線LANアダプターを使って直接接続する」を行なってください。

6 iPhone/iPadとネットワークを接続します。

6-1 iPhone/iPadで、設定 > Wi-Fiをタップし、Wi-Fiネットワーク画面を開きます。

6-2 Wi-Fi を「オン」にします。

6-3 表示されたネットワーク一覧から手順5でエレクトーンを接続したネットワークをタップします。
パスワードが必要な場合、入力してから接続してください。

7 手順6で接続は完了ですので、実際にアプリを使ってみましょう。

NOTE iPhone/iPadとエレクトーンが通信するための設定が必要なアプリがあります。詳細はアプリのマニュアルをご覧ください。

USB無線LANアダプターを使って直接接続する接続する(接続B)

ご用意いただくもの

- USB無線LANアダプター *

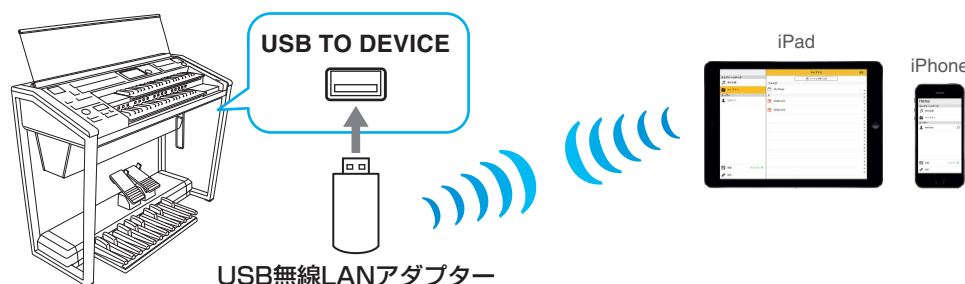
*下記ウェブサイトの「資料/データ」から、動作確認済みUSB機器をご確認のうえ、ご用意ください。

サポート・お問い合わせ：

<https://jp.yamaha.com/support/>

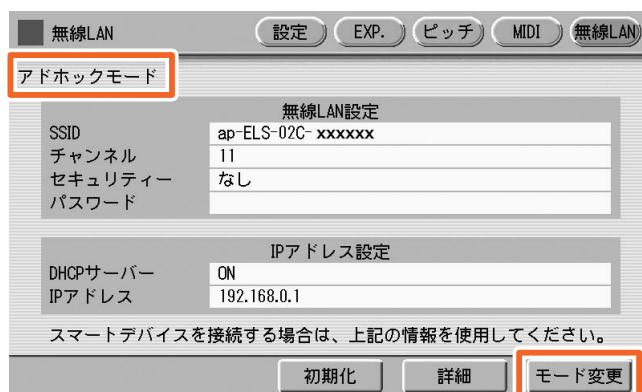
NOTE この接続ができるのは、アドホックモード機能があるエレクトーンに限られます。

NOTE この接続を行なっている間はiPhone/iPadはネットワークに接続できないため、メールやネット検索などの機能が制限されます。



- 1 エレクトーンの電源を切っておきます。
iPhone/iPad上のアプリは、すべて終了しておいてください。
- 2 USB無線LANアダプターをエレクトーンの[USB TO DEVICE]端子に挿入します。
- 3 エレクトーンの電源を入れます。
- 4 エレクトーンをアドホックモードに切り替えます。
無線LANのモード設定でアドホックモードを選びます。

例 ELS-02/ELS-02C/ELS-02X (含むバイタライズユニット)の場合: [UTILITY]ボタン → [無線LAN] → [モード変更]



- 5 必要に応じて、SSIDなどの情報を入力します。
エレクトーンの仕様により入力情報は異なりますが、入力情報には以下のようなものがあります。
例：SSID、セキュリティ、パスワード、チャンネル、など
エレクトーンが複数台ある場合は、SSID、チャンネルを変更してください。
- 6 設定を保存します。
以上でエレクトーン側の設定は完了です。iPhone/iPadからエレクトーンへ接続可能な状態になります。
- 7 iPhone/iPadとエレクトーンを接続します。
 - 7-1 iPhone/iPadで、設定 > Wi-Fiをタップし、Wi-Fiネットワーク画面を開きます。
 - 7-2 Wi-Fi を「オン」にします。
 - 7-3 表示されたネットワーク一覧からエレクトーンを接続したネットワークをタップします。パスワードが必要な場合、入力してから接続してください。
- 8 手順7で接続は完了ですので、実際にアプリを使ってみましょう。

無線LAN接続に関するトラブルシューティング

電波状況などにより、接続が切れることがあります。
対処方法をまとめましたのでお試しください。

NOTE 以下の「アクセスポイント」とはルーター機能が付いているものを指します。

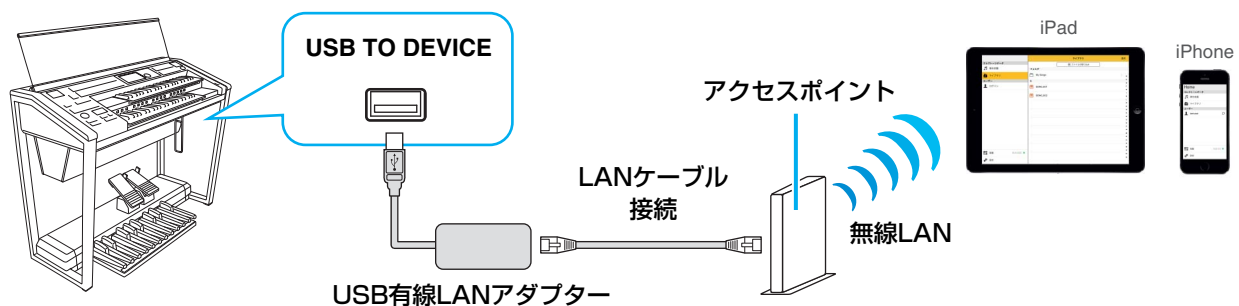
対処方法	アクセスポイントを使った接続 (接続A)	アクセスポイントを使わない接続 (接続B)	どのようなときに有効か
Wi-Fiの使用チャンネルを変える	○ (Wi-Fiの使用チャンネルについてはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。)	○ (Wi-Fiの使用チャンネルについてはエレクトーンの取扱説明書または追加機能説明書をご覧ください。)	エレクトーンとiPhone/iPadが接続されているアクセスポイント以外に、別のアクセスポイントが存在する(iPhone/iPadのWi-Fi設定を見ると多数の接続先が表示される)とき。
同じアクセスポイントに接続されている機器でのWi-Fiの使用を止める	○	—	同じネットワークに接続されている他の機器で、動画視聴やダウンロードなどをして、アクセスポイントに負荷がかかり、スピードが落ちているとき。
接続B (アクセスポイントを使わない接続)で接続する	○	—	同じネットワークに多数の機器が接続されているとき。アクセスポイントに負荷がかかり、スピードが落ちている。
電波障害の原因となる電気製品を止める	○	○	コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器、他のワイヤレス機器などが、使用する電波により障害を受けているとき。
アクセスポイントを近づける	○	—	エレクトーンの無線設定やiOSの無線設定で確認できる無線強度が弱いとき。
アクセスポイントをエレクトーンから少し離す	○	—	エレクトーンのすぐそばにアクセスポイントが置かれており、電波が強すぎてかえって受信しづらいとき。
iOSのBluetooth設定をOFFにする	○	○	他の機器に接続していなくても、電波障害が発生する可能性があります。
iOSを最新にアップデートする	○	○	iOSを更新することにより、通信性能が上がる場合があります。
iOSデバイスを再起動する	○	○	いったんクリーンな状態に戻すと、つながるようになる場合があります。
アクセスポイントを再起動する	○	—	アクセスポイントの電源を入れなおすことで、つながるようになる場合があります。
アクセスポイントのファームウェアを最新にアップデートする	○	—	更新により、通信性能が上がる場合があります。
アクセスポイントを買い換える	○	—	IEEE802.11bなど古い規格を採用したアクセスポイントを使っているとき。

USB有線LANアダプターを使ってアクセスポイントに有線接続する (接続C)

■ USB有線LANアダプターを使いアクセスポイントを介して接続する

ご用意いただくもの

- ルーター機能付きアクセスポイント(モデムにルーター機能が付いている場合は、ここにルーター機能は不要です。)
- USB有線LANアダプター *
*下記ウェブサイトの「資料/データ」から、動作確認済みUSB機器をご確認のうえ、ご用意ください。
サポート・お問い合わせ：
<https://jp.yamaha.com/support/>
- LANケーブル



- 1 エレクトーンの電源を切っておきます。
iPhone/iPad上のアプリは、すべて終了しておいてください。
- 2 USB有線LANアダプターをエレクトーンの[USB TO DEVICE]端子に挿入します。
- 3 USB有線LANアダプターとアクセスポイントをLANケーブルで接続します。
- 4 エレクトーンの電源を入れます。
- 5 DHCPを利用しているネットワークの場合、以上でエレクトーン側の設定は完了です。エレクトーンがネットワークに接続されます。
DHCPを利用していないネットワークの場合、「[手動設定](#)」(15ページ)の操作を行なってください。
- 6 iPhone/iPadとエレクトーンを接続します。
 - 6-1 iPhone/iPadで、設定 > Wi-Fiをタップし、Wi-Fiネットワーク画面を開きます。
 - 6-2 Wi-Fiを「オン」にします。
 - 6-3 表示されたネットワーク一覧からエレクトーンを接続したネットワークをタップします。パスワードが必要な場合、入力してから接続してください。
- 7 手順6で接続は完了ですので、実際にアプリを使ってみましょう。

手動設定

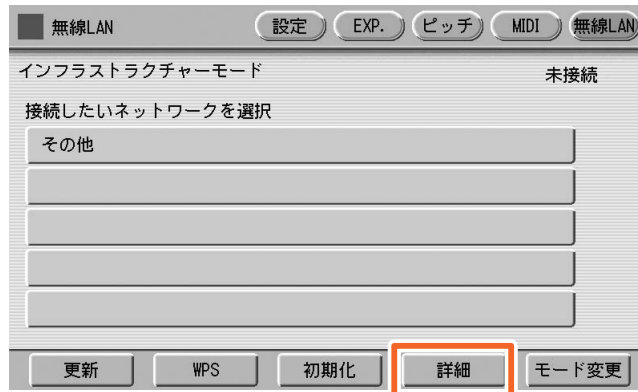
DHCPを利用していないネットワークの場合、IPアドレスなどを入力して接続します。

- 1 無線LANのモードを選んだあと、無線LANの設定画面の[詳細]ボタンを押して、詳細画面を表示させます。

NOTE USB有線LANアダプターを使用してアクセスポイントと有線接続する場合も、無線LAN画面で詳細を設定してください。

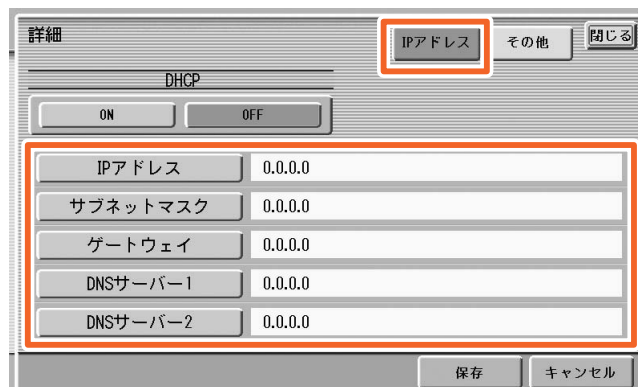
NOTE アドホックモードになっている場合はインフラストラクチャーモードに変更してください。

例 ELS-02/ELS-02C/ELS-02X (含むバイタライズユニット)の場合: [UTILITY]ボタン → [無線LAN]

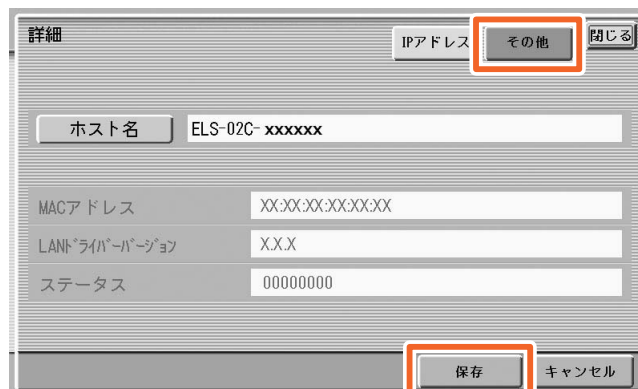


- 2 IPアドレスなどの詳細を設定し、保存します。

詳細(IP アドレス)画面



詳細(その他)画面



ケーブルを使ってiPhone/iPadに接続する(接続D、E、F、G、H、I、J)

■ MIDI端子または[USB TO HOST]端子に接続する

- 1 エレクトーンの電源を切っておきます。
iPhone/iPad上のアプリは、すべて終了しておいてください。
- 2 iPhone/iPadをエレクトーンに接続します。
接続タイプに記載されている手順数字に従って、順番に接続してください。
- 3 エレクトーンの電源を入れます。
- 4 手順3で接続は完了ですので、実際にアプリを使ってみましょう。

NOTE iPhone/iPadとエレクトーンが通信するための設定が必要なアプリがあります。詳細はアプリのマニュアルをご覧ください。

用語集

アクセスポイント	無線LANで電波のやりとりを行なうときの基地局となる機器。ルーターやモデムと一体になっている場合もあります。
アクセスポイントのセキュリティ設定	セキュリティのため、アクセスポイントの通信内容を第三者に分からないようにする方法です。
インターネット	コンピューター間の通信規格にもとづいて、世界中のコンピューターや携帯電話などを接続した巨大なネットワークです。
サーバー	ある特定のサービスを提供するシステムやコンピューターです。
サイト	正式には「ウェブサイト」という、ひとまとまりに公開されているウェブページ群です。 たとえば、「https://jp.yamaha.com/」で始まるウェブページを「ヤマハのサイト」と呼びます。
ブロードバンド	大容量のデータを高速に通信できるインターネット接続サービスです。ADSL、光ファイバーなどがあります。
プロバイダー	インターネット接続サービスを提供する通信事業者です。インターネットに接続するには、プロバイダーと契約する必要があります。
無線LAN	ケーブルを使わず、無線通信でデータの送受信をするLANです。
モデム	一般の電話回線とコンピューターをつなぐための装置です。コンピューターから送られてくるデジタル信号を、電話回線に流す音声信号に変換したり、電話回線を通じて聞こえてくる音声信号をデジタルデータに変換したりします。
リンク	ウェブページ上のボタンや文字列に埋め込まれたほかの文章や画像などの位置情報です。リンクのある場所をクリックすると、リンク先へジャンプします。
ルーター	ネットワーク間を接続する通信機器です。ご家庭では、インターネットに複数のコンピューターや楽器を接続する場合に使用します。
ワイヤレスネットワーク	電波を使って信号の送受信を行なう無線ネットワークです。
DHCP	インターネットに接続するたびに、コンピューターにIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てるための規格です。
LAN	同じ建物の中にあるコンピューター同士を専用のケーブルで接続し、データをやりとりするネットワークです。 Local Area Network の略です。
SSID	アクセスポイントを識別する名称、または、アクセスポイントに設定されているワイヤレスネットワークの名称です。
USB無線LANアダプター	無線LANに接続するための機能を提供する機器です。
USB有線LANアダプター	有線LANに接続するための機能を提供する機器です。
WEP	無線LANのセキュリティ方式の規格です。
WPA/WPA2	無線LANのセキュリティ方式の規格です。従来採用されていたWEP方式よりも強固なセキュリティ方式です。
WPS	アクセスポイントと無線LAN機器のWPSボタンを押すだけで、簡単に無線LAN設定できるしくみです。

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件にもとづき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

WPA Supplicant

Copyright © 2003-2009, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is dual-licensed under both the GPL version 2 and BSD license. Either license may be used at your option.

License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

XySSL

Copyright © 2006-2008, Christophe Devine.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of XySSL nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.